

# 「携帯トイレ」で災害時も安心

## 震災の備えとして必要なもの

平成2年“普賢岳噴火”以来、平成7年には“阪神淡路大震災”さらに平成12年の“三宅島噴火”等、全国各地に自然災害が猛威を振るっている。つい最近では、台風による水害、新潟県の中越沖地震等、これからも全国規模で被害が予測される。そして、これからの自然災害が私たちの身の回りに“いつ”“どこで”おきても不思議のない状況である。そうした中、被災者が最も困惑することの1つに「トイレの不備」があげられる。

新潟県中越沖地震の時も仮設トイレの設置・充足に数日を要し、さらに設置後も断水が続いたために水を流すことができず衛生面や悪臭が最大の問題として提起された。被災者からは、次のような声が上がった。「貴重な飲み水をトイレに使用するのは非常につらかった。」「食料や飲料水等の備えはしていても、トイレの備えはしていませんでした。」「家のトイレが使えないので、避難所の仮設トイレに行ったが、どの仮設トイレも便器の中が汚物の山で使用不可能な状態でした。それ以来、トイレのことが心配なのであまり水が飲めませんでした。」

(株)フジは、被災者の方々に対して「我々は何ができるのか、皆さんに喜ばれるものは何か」を考え、色々と検討した結果、「排泄を我慢することによる健康への影響が問題である。」という観点から「使い捨て携帯トイレの開発」を手掛けることにした。

## 電機設備工事から携帯トイレへ

当社は昭和22年5月に創業。電機設備工事、家庭電化製品販売・修理を開始。その後、空調設備工事や、コンピューターシステムの販売、VTR制作など、業務を拡大していった。更に、健康関連グッズや介護用品など、多角化を図っていく中で「携帯トイレの開発」に着手するに至った。しかしオリジナル商品を開発す

るには、使い易い形状はどのようなものなのか、など試行錯誤が続き製品化には数々の困難が伴った。他社からは「業界の勉強が足りない。」などの批判の声もあった。



Good パケットトイレタイプ

## ビジネスナビゲータの活躍

取引先で打ち合わせをしているときだった。そこへ偶然ビジネスナビゲータが現れ、同席することになった。取引先はニューマーケット開拓支援事業の支援企業であり、ビジネスナビゲータが打ち合わせにやってきたのだ。そこで商品を知ったビジネスナビゲータは「世のため人のために役立つもの。是非こういったものを支援したい。」と判断し同社にニューマーケット開拓支援事業への申請を勧め、会社の審査を経て支援製品となった。

当初は、先行していた他社製品との価格や、新規市場参入による知名度の不足などの理由で、なかなか成約には結びつかなかった。それが、特許出願した2製品が市場に認知された頃から、徐々に引き合いが出始めた。平成14年9月に支援を開始してから、マッチングをしても思わしくなかった成果も平成18年5月に初めての商談が成立すると、その後はとんとん拍子

## 企業概要

(株)フジ

東京都台東区花川戸 1-5-2 サテライト・フジビル

URL: <http://www.fuji.ecnet.jp/>

代表取締役 池田 一郎

資本金 1,000万円

業種 防災用品・介護用品製造販売業

主要製品 携帯トイレ Good パック他

に商談が進み、その月だけで5件もの成約が上がったのだ。

そんな努力の結果、現時点（19年9月末）でのビジネスナビゲータの紹介による売上げも1,000万円を超えるほどになった。

ニューマーケット開拓支援事業を活用したときのメリットは何かという問いかけに対し、「この制度を利用しての最大の利点は“想像も出来ないキッカケ”が創られたということです。例えば、一部上場企業に“携帯トイレ”を直接売り込みに行くことは、中小企業としてはとても勇気のいることですが、それが簡単に実行出来るのです。また、会社の支援対象製品であることを謳えることは掛替えのないブランド

にもなっています。」と本事業の成果に満足の様子であった。

## 更なる発展に向けて

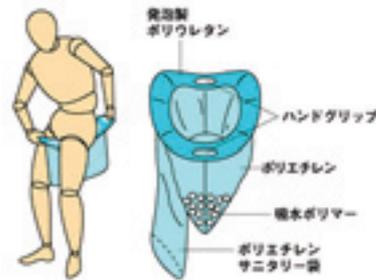
(株)フジは現在、携帯トイレが主力製品となっている。

市場シェア約5%の現状を打開するために携帯トイレ事業に全力を傾ける意気込みだ。現在は、TV通販を始め、店舗販売、企業や行政等の備蓄販売などと様々な販売手法を行っている。

新たな製品開発も行っており、新たな支援申請製品ができつつある。ビジネスナビゲータは、こちらの製品も市場性を感じているようだ。



Good パックミニ



Good パックハンディ



### ナビゲータの声

私は営業畑の出身ですが、企業と企業の仲立ちとして商品を紹介する際には最低限の製品知識が必要となります。今回の製品は「その良さと必要性」が簡単明瞭で、かつ、災害時ばかりでなく日常のドライブなどにも使用することが出来るため「購入者からはきっと喜んでもらえる」という気持ちの「後押し」があり支援させて頂くこととなりました。出身企業の防災対策用品の備蓄用を始めとして数件の取引先を紹介させて頂きました。平成19年3月に会社の規定により「支援卒業製品」となってしまいましたが、今回久しぶりに同社を訪問させて頂きました。本業を縮小され、主力製品が携帯トイレになったとのことに驚くと共に心から嬉しく思った次第です。私達ビジネスナビゲータは支援製品・企業が信頼できれば努力を惜しみません。これからも頑張ってください！

### 企業の声

早いもので、当社様に支援されて3年が経ちました。その間、会社の事務局の方や、ビジネスナビゲータの皆様方にご指導ご鞭撻を賜り誠にありがとうございました。さて、弊社の製品ですが、企業備蓄はもとよりTV通販をはじめ各社通販紙、さらに店舗と順調に営業活動ができるようになりました。これにおごらず、会社の支援製品であるという誇りを持ち、今後も努力し、前進していきたいと思っております。